



# 文 武 両 輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年11月 6日

【文責】校長 蔦川 誠

## 友達について考える

11月1日(水)、校長講話を実施しました。

今回のテーマは、「友達」でした。

中学生の時期は、自分はどのような人間でこうなりたいといった、自我意識がとて強まってくる時期です。

そんな中、友達との関係についても深く考えることが増えてきて、時にはちょっとしたことで思い悩むこともでてきます。

今回の講話では、「友達とはどんな存在?」「本当の友達とはどんな友達のこと?」「友達をつくるにはどうすればいいの?」といった内容でお話しました。右の図は、講話の際に使ったスライドの一部です。

講話の主な内容を以下に載せます。

=いっしょにいて**楽しい**人

**友達** = いっしょにいて**元気**になれる人

=気持ち**通じ合える**人

中学校で必要なのは？

①「**友達をつくる力**」

②「**気の合わない人**とも上手につきあう力」

- ① 中学校は各教科だけでなく、人間関係（特に人との距離感）についても勉強する場所
- ② 中学校で必要なのは、「友達をつくる力」と「気の合わない人とも上手につきあう力」
- ③ プラスの影響を与える友達になるために、自分を磨くことに努めよう。

生徒の感想を紹介します。

中学校時代という友達関係で悩むことが多い時期に、このようなお話を聴くことができてよかったです。お話の中で一番心に残ったのは「大切なのは友達の数ではなく本当の友達だ」というところです。これを聴いて、私は友達をたくさんつくろうという意識が本当の友達をつかっていこうという意識に変わりました。また、自分が周囲にプラスの影響を与えるような存在になっていくことで、よりよい友達関係を築いていくことができることも学びました。これからは常に自分磨きをしてプラスの影響を与える友達をつかっていきたいです。そして、自分もまた誰かにとってのプラスの影響を与える友達になりたいです。

2年2組 金濱のぞ美

